



アキシマン

編集 昭島市青少年委員の会
発行 昭島市子ども育成課

広報部会
昭島市つつじが丘3-3-15

令和5年 3月発行
042 - 544 - 4313

我ら**青少年**の活動を応援します



令和4年度研修会にて



ご挨拶

子ども育成課長 薬袋 州子

青少年委員の皆様には、日頃から学校や関係団体との連絡調整、地域の青少年の健全育成活動にご尽力を賜り誠に感謝申し上げます。

近年、核家族化の進行や地域のつながりの希薄化等により、地域や家庭の子育て力が低下している中、社会全体で子育てを支援することが重要となっています。また、青少年を取り巻く状況は、デジタル時代の学びが本格化し、情報活用能力や情報モラル教育が進展する一方で、ネットによるいじめや犯罪、薬物等の有害情報の取得が安易となり、その結果、社会的規範の軽視、反社会的行動の遊戯化、怠学などは限られた青少年だけでなく、低年齢化も進んでいる状況にあります。さらに新型コロナウイルス感染症拡大や不安定な社会情勢が家庭を直撃し、閉塞感や不安を感じる青少年も増加しております。

次代を担う青少年の健やかな成長を支えることは社会全体の責務であります。青少年の問題は大人社会の反映であることを踏まえて、行政のみならず家庭、学校、地域などすべての組織や個人が一体となって、青少年との信頼関係の上にそれぞれの役割や責任を果たしつつ、相互に補完、協力しながら取り組んでいくことが肝要ではないかと思います。

昨年は、昭島市が昭和57年に「青少年とともにあゆむ都市」として宣言をしてから、40年目の節目の年となりました。また、あいさつ運動のさらなる推進のため、周年記念事業としてあらたな標語を公募し、先日、入賞作品の表彰式を執り行いました。今後、学校や関係団体等と連携を図り、新たな標語を用いた周知啓発活動を推進し、青少年健全育成活動の一助となるよう努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な分野において事業の休止や延期が続き、青少年委員の皆様様の活動もこれまでにない困難な状況でございますが、引き続き、青少年健全育成活動の発展へお力添え賜りますよう、お願い申し上げます。

「withコロナ」のなか、工夫をしながら行われた 令和4年度の各地域の活動を紹介します

【拝島第二小学校地区の活動】

拝島第二小学校地区では、野外映写会が出来なくなり、それに代わる新企画を皆で考え、本年初めて、「拝二小ソーランを踊ろう」を企画しました。運動会で長年行われていましたが、ここ数年、出来てないという事で、小さい規模でもみんなが楽しめる企画と夏の思い出になるようにと、夏祭りの雰囲気を出した、縁日の出店的なものを合わせた企画を立てました。

設営の準備は、リーダー講習会の子ども達と共に、当日、飾る提灯、踊る時のソーランの半被もつくりました。ソーランも経験がある6年生を中心に練習を重ねました。

本番当日では、夕方から出店でのゲームやくじ引きなども行い、暗くなってから、ソーランを参加者で踊るようにしました。リーダーが中心となり、演技、夏祭りのお手伝いも行ってくれました。当日は、200人を超える参加者が大いに盛り上がりました。

今年は、新たな企画でしたが、無事に終了しました。コロナ禍で夏のお祭りの雰囲気や思い出が少ない中ですが、今回、参加した子どもたちが、夏の良き思い出の機会になれたらと思います。



【中神小地区】

新型コロナウイルス感染症により、地区委員会での行事がしばらく出来ていませんでした。その中で、何か子どもたちが喜ぶ行事が出来ないかと考え、ハロウィンイベントの開催をいたしました。

当日は子どもたちをはじめ、保護者の皆さん、そして手伝いの役員も仮装をしておの参加です。未就学のお子さんを含めた参加総人数は250名以上となりました。校庭にクイズを解くポイントや、写真撮影をするポイントを設け、児童の皆さんにスタンプラリーの要領で回ってもらいます。

夏休み前から話し合いが始まり、8月後半からは毎週のように話し合いを重ね準備をしてきました。ここ数年、行事を開催できず役員も地区委員の行事がない生活に慣れ、また新しいことを始めるにあたり何もないところからのスタートとなり、大変だったこともありましたが、しかし子どもたちの笑顔に触れて対面で人と会うことの大切さを実感でき、また参加して下さった保護者の方、また学校の先生方から、行事を開催したことに対して温かいお言葉を頂き、開催をしてよかったと感じております。

新型コロナウイルス感染症についてはまだまだ収まる気配が見られませんが、何ができるか、どうしたらできるかという前向きな気持ちを忘れず、これからも子どもたちの笑顔のために頑張っていきます。



【つつじが丘小地区】

「昔の人たちの暮らし、山の仕事、川の魚たちなど知ることができて勉強になりました。」「スリル満天なアスレチックを体験しました。」「6年生と親しくなれたし沢山遊べて学びました。」「マス釣りは、できませんでした食べることはできました。ジューシーでとても美味しかったです。」「以上が子供たちの体験した感想です。

コロナ禍で中々できない行事ですが子供たちに自然の大切さやゲームから離れた世界を見せてあげたいと役員と話し合い夏休みに日帰りで檜原村へ行くことにしました。払沢の滝では流れが強く迫力があると大喜びし、いつのまにか水遊びをしていました、神戸岩では最初に暗いトンネルに興味津々で通り抜けてからのお昼ご飯です、お母さんの作ってくれたお弁当を嬉しそうに食べている姿を見てホッくりしました。食後は岩場に鎖が取り付けられている溪谷でスリルを味わいながらアスレチックで楽しみ最後にマスを食べてレクリエーションゲームで楽しみました。

1日だけでしたが肌で自然を感じ団体行動のあり方、自分たちがどうしなければならないのか沢山のことを学べたと思います。今は中々自然を体験する機会がありませんがもっと沢山の子供たちに参加してもらって笑顔で体験してもらいたいです。

今回ご協力くださった皆さま感謝申し上げます。
ありがとうございました。



【成隣小地区】

今年の小学生リーダー講習会のテーマは『食育』とし、料理をメインとするのではなく、自分で食材の確保から食べる内容で、計3回の講習をおこないました。室内での調理、密集を避けるため屋外で出来る。日帰り。ということ決め。自分で釣って、加工し食べる内とし、その時、命の大切さも考えてくれば良い経験となるのではとの考えです。準備（ミーティングと釣り講習と練習）。食材確保（釣り体験）。食材加工とし、一連の体験より各班での係によるリーダー育成を目指しました。

講習では、ニジマス釣りの釣り方として、餌釣り、ルアー釣り、毛ばり（フライ釣り）の違い、体育館での、水中での魚のいる場所（タナ）説明と水中でのルアー動き実験、ゲームによるルアーキャスティング練習を行いました。現地講習では、餌、ルアー釣りによる食材確保。釣った魚の串刺し、炭焼きとなりました。

現地（釣り施設）の児童の釣り3時間、魚の加工1時間。食す1時間の経験での感想として、『すぐに糸が絡まってイライラする』『餌を付けるのが難しい』『釣れた時のブルブルが面白い』『練習の様にルアーが飛ばない』『針が手、服に刺さった』『魚のいるところを探して、釣りの引っ張り（手ごたえ）が凄かった』『串に刺すのがかわいそう』『自分で釣って死んじゃったので残さず食べた』『自分で釣って刺して塩で焼いたから美味しかった』『いつも魚あんまり食べないのに全部食べた』などの声が聞けた事と『もう一度やってみたいですか？』の問いに全員が『やりたい！』の答えで、手探りで初めて行った講習内容ですが、成功としたいところです。

1
回
目



2
回
目



3
回
目



中学生リーダー・リーダーズクラブ（ALC）の活動

※ALCは小学生・中学生リーダー講習会の卒業生を中心とした活動団体です。地域の活動に協力しています。

今年度は、「皆で協力し仲良く楽しもう！」のテーマで、テント設営・レクリエーション・壁新聞作成・ゴミ拾い等の活動を行いました。

班員とのコミュニケーションや時間意識と、成長していく彼らの姿は著しいものでした。

約半年の活動の中で、他校との交流は、彼らにとって強い刺激になったことでしょう。ここで学んだことをこれから活かしてほしいと願っています。



ALC代表 高田 英梨紗

会員募集中です!!

青少年フェスティバル実行委員会の活動

本年度、4月に実行委員の募集を行いました。応募してくれた実行委員は、青少年フェスティバルの開催を念頭に9月まで活動しましたが、残念ながらフェスティバルは中止となりました。

今年度集まってくれた実行委員は来年度も引き続き活動してくれるとのこと、青少年委員一同大変心強く思っています。来年度は、若い実行委員の柔軟な考え方を尊重しながら、新しい青少年フェスティバルを開催できればと思います。

実行委員募集中です!!

よろしくお願いします!!

令和4年10月1日から子ども家庭部子ども育成課青少年係に配属になりました遠藤です。

現在に至るまで、税や福祉、図書館などの仕事をしてきました。青少年の皆様と一緒に仕事をさせていただくのは初めてのこと。この年齢になっても学ぶことがあり、新しい刺激を得られることに驚きと喜びを感じています。これまで市役所で培ってきた経験をもとに青少年の健全育成に貢献できるよう皆さんとともに歩んでいきたいと思っています。

仕事柄、いろいろな会議に参加させていただく中で、地域と子どものかかわりの重要性、学校のカリキュラムだけでは経験できない物事が実はとても大切なことなのだと気づきました。青少年委員の皆様を含め、地域が担う役割、地域の連携など事務局としてお手伝いしてまいります。よろしくお願いします。

子ども育成課 青少年係 遠藤弘志

